

昨日、大阪人間科学大学と1点を争う激戦を繰り広げた愛知学泉大学と、BEST4入りを果たし勢いに乗る武庫川女子大学による3位決定戦。学泉大は序盤から昨年優勝の実力を見せつけ、安定したゲーム展開で着実に得点していく。一方、武庫川も激しいディフェンスで相手のミスを誘い、攻撃につなげる試合を見せた。武庫川#4 淵上、学泉大#14 八木を中心に3Pの応酬が続いたが、学泉大が意地と実力を見せつけ73-46で第3位に輝いた。

第1Q、学泉大#19 内堀の3Pで幕が切って落とされる。武庫川も負けじと#4 淵上が3Pを決め返して応戦する。しかし昨年度女王学泉大は#11 岩崎、#8 土村が3Pを決めるなどその実力を存分に見せつける。武庫川も果敢に攻めるが、あとシュートまであと1歩のところになかなか攻めきることができない。学泉大の流れのまま21-9学泉大リードで第1Qが終了。

第2Q、武庫川は#5 木下のシュートが決まり、徐々に流れを掴み始める。一方の学泉大は残り8まで点を取ることができない。残り6、学泉大#14 八木の3P、#5 鈴木のシュートが決まり、学泉大が流れを取り戻していく。残り4、武庫川はたまたまタイムアウトを請求。その後、武庫川#8 奥村が巧みにシュートを決めるが、学泉大は#14 八木を中心に連続得点を決め勢いが止まらない。残り2、武庫川#17 木村がバスケットカウントを決め学泉大に食らいつこうとする。36-22学泉大リードのまま前半戦を折り返す。

第3Q、武庫川は#6 糸魚川の激しいディフェンスから相手のミスを誘い、速攻を決める。その後も武庫川は堅い守りでボールを奪い、ゲームを支配し始める。しかし学泉大も簡単に流れを渡すことはなく、#14 八木が3Pを決めて応戦する。#12 神山、#6 安江も技ありのシュートを決め、技術の高さを見せつける。武庫川は#4 淵上の3P、#8 奥村の連続シュートを決めるが、点差を詰められないまま54-38学泉大リードで最終Qへ。

第4Q、両者激しい攻防を繰り広げる。武庫川はインサイドの#8 奥村、#16 新を起点としてオフェンスを組み立てるが、リバウンドが取れず苦戦する。対する学泉大は#12 神山がインサイドシュートを決めるなど着実に加点していく。武庫川は#6 糸魚川が鋭いドライブで切り込んでシュートを決める。武庫川が流れを掴むかと思われたが、学泉大#14 八木が3Pで武庫川の勢いを封じ込める。さらに#11 岩崎が3Pを決め、73-46で学泉大が第3位に輝いた。

記入者：富田 佳奈子